

W洗い(ドライ+水洗い)加工

下記の1と2の方法を使います。

1. ドライ溶剤の中に水溶性のソープを添加して行う方法。
ドライクリーニングの中に、水汚れに効く洗剤を入れて、洗います。

この場合、水は使用しません。

2. 水洗いするクリーニング方法。

水洗いできない衣類も水の中に浸して、やさしく洗います。

汗の成分のほとんどは水分ですが、アンモニア、塩分、脂質などからなっているのでW洗いが有効です！裏面に詳細も



W洗い(ドライ+水洗い)加工

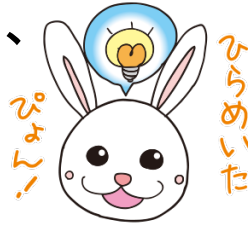
基本的にクリーニング店では、ウールやスーツなどの水洗いすると型崩れを起こす衣類はドライクリーニングを施されます。

ドライクリーニングは油汚れには強いのですが、水汚れには弱い性質を持っています。

なので、徐々に蓄積された、汗汚れがスーツをゴワゴワにしたり、臭い、黄ばみの原因になったり。

綿素材で考えてみると、ドライクリーニングでは汗に対する、洗浄率が悪く、70%も汗が残っているという事実もある程なんですよ(一一;)

水溶性の汚れを落とすには水を使って洗う方法がベストなんです。(同じ性質で落とす！これは染み抜きと同じ原理です！)



ウエットクリーニングを施したスーツはさっぱりと仕上がって、身軽になった感じがします。

もちろん、着心地も変わるので、汗対策にはバッチリですね！

クリーニング店でご依頼される時は必ず、工程方法を必ず確認して下さいね。

【ご注意】

海外製品や、染色が弱い衣類。汗や水に濡れるだけで、色が滲んできたりする衣類はウエットクリーニングができない場合がございます。

詳しくは工場に品質管理者がおりますので、そちらへご連絡ください。